

特集

多様な地域活動の拠点

～佐倉市よもぎの園のco-Challenge!～

愛光の事業所が多く集まっている佐倉市山王地区からは少し離れ、佐倉市宮前、鐺木、城地区で事業展開を行っているのが「佐倉圏域事業部」です。市内でも特に歴史と伝統が色濃く残る地域で障害福祉を軸としながら、我が町佐倉を大切に生きてきた地域の方々との結びつきを大切に、この地区だからできる地域共生社会に向けて挑戦を続けています。

その中心となるのが、「佐倉市よもぎの園」です。佐倉市の指定管理を受けて私たち愛光が運営を行うようになって約18年。事業所が果たす役割は福祉事業にとどまらず、地域住民の活動やレクリエーション活動の拠点として、また地区社会福祉協議会や相談支援事業所などが相乗りする複合施設として機能しています。さらに、その堅牢な造りから災害時の地域の拠点としても期待されているところです。



佐倉圏域事業部の構成



佐倉市指定管理者施設よもぎの園

佐倉市及び近隣にお住まいの知的障害のある方の働く場所。さまざまな企業から業務委託を受け、確実、正確、スピーディな仕事で、地域の企業のお役に立っています。

障害者生活支援事業所かけはし

全ての障害のある方の生活に関する相談、サービス利用に関する相談を受けています。担当地域は佐倉地区になります。

内郷地区社会福祉協議会

「地区社協」は、住みよい福祉のまちづくりを目的として、そこに住む住民が主体となって推進する協議体です。内郷地区社協では様々な地域福祉活動を行っています。よもぎの園の管理者も福祉委員として活動に参画しています。

市民活動の拠点として

館内には市民の皆様が地域活動に使用していただけるスペースがあります。現在は『健康体操』と『ヨガ』の団体様の活動に使用されています。

地域交流の拠点として

建物の前庭はイベントの開催にも使える、広いスペースが確保されています。地域にお住まいの方たちの住民活動である「ローズタウン交流会」はこの場所で催されています。

防災の拠点として

災害時は福祉避難所として機能することになる佐倉市よもぎの園。さらに内郷地区社協の活動において「災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会」があります。

佐倉市よもぎの園所長より

佐倉市よもぎの園は、様々な人と機能が共存しています。よもぎの園に通う障害のある方々は、日々生き生きと働き、その喜びや楽しさを感じているように見えます。よもぎの園の職員はそうした彼らを、チーム一丸となって支えています。

地域活動もコロナ禍という長かったトンネルを抜け、以前のような活気が戻りつつあります。

また佐倉圏域事業部としては「かけはし」、「宮前の家」が加わり、慌ただしい毎日ですが、これからも地域の方々と共に歩んでいけるよう、努めていきたいと思っております。

(佐倉市よもぎの園 所長 戸室輝大)





私たちの施設で手掛けた作品やお花が、地域の皆さまの目に触れる場所があります。この特集では作品やお花を置いていただいているお店をご紹介します。今回はその第2弾として、佐倉市にあるNPO法人ココプロが運営するヌックカフェを訪ね、オーナーの渡邊さんにお話を伺いました。ヌックカフェには園芸班が心を込めて育てたお花を、素敵なカフェ空間で販売させていただいています。施設の中だけでは味わえない、利用者の皆さんの“想い”が広がる瞬間をご紹介します。

■人と笑顔が繋がる場所 カフェの誕生秘話

「以前勤務していたリハビリ中心のデイサービスで、利用者の方々に歌を歌っていただく機会がありました。歌い始めた瞬間、表情がぱっと輝き、自然と会話や笑顔が生まれる。その瞬間を目の当たりにして、私は強く感じました。人が笑顔でつながれる時間を、もっと多くの人に届けたい。そんな想いから生まれたのが、ヌックカフェです。」

■手作りのぬくもりを感じるカフェ

渡邊さんと友人が約1年かけてリノベーションされ、小学校を思わせる木のぬくもりと広々とした空間は、訪れる人すべてに安心感を与えます。



■苦勞を乗り越え、喜びへ



左:オーナーの渡邊さん
右:花を届ける小出さん

「苦勞を乗り越え、喜びへ——開設当初、この場所にはまだ地域とのつながりが少なく、さらにコロナ禍の影響で休業を余儀なくされるなど、不安や孤独に包まれる日々が続いていました。それでも「来てくださるお一人おひとりとの出会いを大切にしたい」という思いを胸に、歩みを止めることはありませんでした。」

その積み重ねが、やがて確かな実りとなります。今ではサロンを利用される方々から「ここに来るのが楽しみ」「また来るね」といった温かい言葉が数多く寄せられるようになりました。小さな一歩の積み重ねが、人と人をつなぎ、やがて大きな喜びへと変わっていく——そんな温かな物語が、ここには息づいています。

■あの日の実習が紡いだ、今日というご縁

「サロン立ち上げを目指し、学校に通っていた頃。実習先として訪れたのが「愛光」でした。そこから、思いがけないご縁が始まります。開設間もない頃、実習を担当してくださった職員の方にサロンを訪ねていただいたことをきっかけに、愛光のお花の納品がスタートしました。

季節ごとに届くお花は、カフェを利用される皆さまにも大変好評です。「そろそろお花が届く頃かしら」そんな会話が自然と生まれるほど、日々の楽しみのひとつとして根付いていきました。」



「中でも印象的なのは、近隣施設の利用者の方が外出の際に立ち寄り、嬉しそうにお花を選んで購入されていた姿です。色とりどりの花を前に、どれにしようかと迷いながらも、どこか誇らしげな表情。そのひとは、日常に小さな彩りと喜びを添えているようでした。」

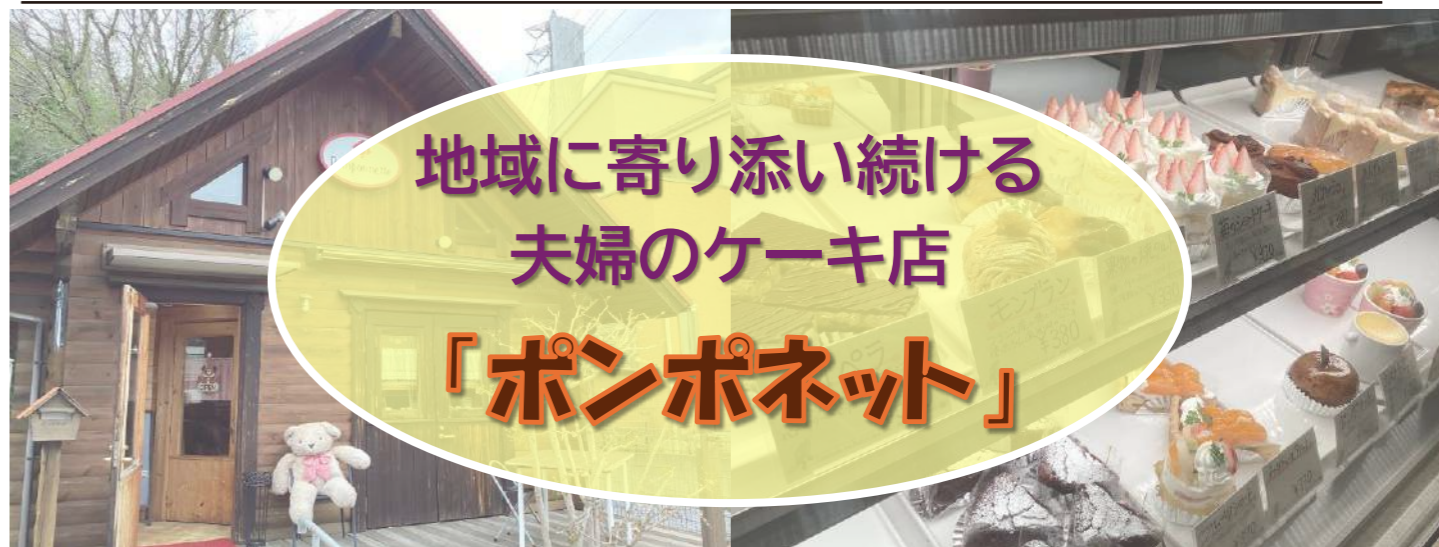
■私たちが目指すこれから

「地域のすべての世代の方に心温まる居場所(ヌック)を創る」を基本理念に、地域の方々と共に、ここに居心地の良い空間を創り、進化させていくことが、我々の大きな願いです。

子育て中の親子や、学校に行きづらいお子さん、若い世代の方々にも気軽にサロンへお越しいただき、年齢や背景を問わず交流できる多世代の場となることを目指しています。」

ここでは、誰もが自由に集い、歌やさまざまな活動を通して笑顔をかち合うことができます。訪れるたびに元気が湧き、心があたたまるような時間を、ぜひ一緒に体験してみてください。

場所:千葉県佐倉市江原台2-10-3
☎:043-376-1817
定休日:土・日・月



地域に寄り添い続ける 夫婦のケーキ店 「ポンポネット」

History

平成10年、佐倉駅近辺でオープン。その後白銀に移転し佐倉で28年間続くケーキ店。店主は老舗フランス菓子店「ルコント」、「シェ・リュイ」、「ポン・ヌフ」、八街のチョコレート工場で修業を積み、お菓子作りの技術を磨いたそうです。奥様も製菓の専門学校卒業後にポン・ヌフで経験を重ね活躍。その職場でお二人は出会いました。「いつか自分たちの店を持ちたい」という思いから開業。以来、夫婦二人三脚でお菓子作りの道を歩んでこられました。

私たち愛光ともご縁があり、まだ佐倉駅近くにお店がある頃から利用者さんの誕生日などの際、こちらへケーキを買いに行くのが恒例となっていたりと、長くお付き合いさせていただいています。



お客さんからリクエストのあった
ケーキを作成中

Pomponnette

店名の由来でもある看板商品「ポンポネット」は、フランス語で「小さなポンポン」を意味します。サヴァラン(生地にラム酒をたっぷりと染み込ませたフランスの伝統菓子)の焼き型の名称でもあり、店主が初めて作ったケーキがこのポンポネットだったそうです。

いただくと、ラム酒の豊かな香りと光沢のある見た目に反して、口当たりはふんわり軽やか。甘さを抑えたホイップとカスタードクリームが調和し、大人の味わいとなっていました。



店主独自のアレンジで
クリームが加えられています

Original

お店の魅力のひとつに、オーダーメイドのデコレーションケーキがあります。きっかけは「アンパンマンのケーキは作れますか?」というお客様の一言。当時はYouTubeも無く、本などでキャラクターを確認しながら手探りで作成していたそうです。オーダーによってはあまりの難しさに途方に暮れたことも。以来、アニメのキャラクターや食べ物を模したものなど、100種類を超える多彩なデコレーションケーキを作り、写真に収めアルバムに保管されています。「出来たケーキをお客さんに見せる時が一番緊張し、一番楽しみです。」(店主)



Community

「佐倉は、子育てがしやすい、人も優しい。利便性と自然の豊かさが共存している暮らしやすい地域だ。」と店主は語られていました。また、「多くの常連客や近隣の住民との関わりを大切に、小・中学校の学区探検や職場体験の受け入れなどを通して、佐倉という町と共に歩み、これからも地域との触れ合いを続けていきたい。」と地元への愛着を語ってくれました。

そんなご夫婦の思いが詰まった町のケーキ屋さん。一度訪れてみてはいかがでしょうか。

佐倉市白銀2-3-5

☎ 043-483-2023

営業時間

水・木・金・土・日

10:00 - 20:00

定休日 月・火

響け、私たちの鼓動

～めいわ太鼓班～

私たちの施設には、「めいわ太鼓班」があります。彼らの物語の始まりは、今から約45年前。当時、盲学校に通っていた数名のメンバーが、「ぶち合わせ」という楽曲の練習を始めたのがきっかけでした。視覚や知的に障害があいながらも、音と振動を頼りにリズムを体に刻み込んだあの日々。卒業後、当施設へ移ってからもその情熱が絶えることはありませんでした。一つのことを45年以上続ける——そのひたむきな姿勢が、今の太鼓班の力強い音色を作っています。



現在、めいわ太鼓班は地元・佐倉市を中心に活動をしています。これからも、練習を重ねて力強い響きを皆様にお届けしていきます。

【最近の出演状況】

- ・全国視覚障害者福祉大会(幕張)
- ・臼井のおまつり「わらいば」
- ・ケアハウスちとせ様



中曾 宏美さん



めいわ太鼓班で盛り上げ役を務める入職4年目の中曾祢さん。彼女が手にするのは、澄んだ音色が響く「篠笛」です。きっかけは、かつて先輩職員が吹いていた篠笛に、利用者の皆様がイキイキと表情を輝かせていた光景でした。その先輩の異動後、自ら上司に直談判。篠笛教室へ通い、自宅でも練習を重ねる努力の末、再び笛の音を復活させました。篠笛が加わったことで、練習風景は一変。利用者様の掛け声はより大きく、笑顔はより深まりました。特に印象的だったのは、初めて合奏した時のこと。「いつもは皆さんのテンションが上がるとリズムも速くなるのですが、その日は私の笛のペースに寄り添ってくれたんです。」利用者様と職員が音で通じ合う、温かな一体感。篠笛の音色は、今日もみんなの心を一つに結んでいます。

新年度、新たな仲間が加わりました!



桜の季節、愛光にフレッシュな新任職員たちが仲間入りしました。辞令交付式から始まった4日間の研修では、一歩ずつプロへの階段を上る新任職員たちの、真剣かつ活気あふれる姿が見られました。研修後は、各事業所へ分かれそれぞれに歩み出しております!

感謝のコーナー (2025.12 ~ 2026.3)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

- 【個人】 酒井綱一郎 亀岡孝仁 川俣正人 平田恭一郎 水谷宜一
- 【団体】 さくらあったか食堂ネットワーク

日誌抄録

(2025.12 ~ 2026.3)

12月	5日 職員実践発表会	2月	4日 みそら小学校福祉学習	3月	3日 BCP 対策研修
	7日 評議員会		12日 コ・ヒューマントレーニング		5日 福祉のお仕事体験会
	8日 メンター情報交換会		13日 5S 研修		8日 ボランティア交流会
	10日 コ・ヒューマントレーニング		17日 南図書館販売会		12日 コ・ヒューマントレーニング
	12日 5S 研修		18日 地域食堂ともいき		14日 理事会
	16日 南図書館販売会		26日 メンタルヘルス研修		17日 南図書館販売会
17日 地域食堂ともいき		18日 地域食堂ともいき			
26日 内定者懇親会		19日 5S 研修			
1月	9日 5S 研修	2月	19日 メンティー交流会	3月	24日 労務管理者研修
	14日 経営層マネジメント研修		18日 家族会主催研修		5日 福祉のお仕事体験会
	17日 理事会 / 山王みらいプロジェクト		20日 南図書館販売会		8日 ボランティア交流会
	17日 南図書館販売会	12日 コ・ヒューマントレーニング	14日 理事会		
	18日 地域食堂ともいき / 褥瘡ケア研修	17日 南図書館販売会	17日 南図書館販売会		
	19日 メンティー交流会	18日 地域食堂ともいき	18日 地域食堂ともいき		

編集後記

広報誌 AIKOH も88号を発行することができました。編集が進むにつれ、愛光がたくさんの方に支えられていると実感することとなりました。新年度、新しい仲間も加わりました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(岩崎)

編集委員

宮部和樹(ワークショップかぶらぎ・委員長) / 花澤直忠(ルミエール) / 関谷篤史(めいわ) / 関谷景子(リホース) / 岩井聡子(根郷通所センター) / 山崎涼子(はちす苑) / 岩崎秀夫(南部包括支援センター) / 高橋飛鳥(ワークショップかぶらぎ) / 齋藤理江(学童) / 須藤譲(本部) / 森貴裕(本部)

2026年(令和8年)5月15日発行

社会福祉法人 愛光
 発行人 西原 弘明
 編集人 広報委員会
 〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9
 TEL.043-484-6391
 FAX.043-484-6396

E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp
 URL https://www.rc-aikoh.or.jp
 印刷: ワークショップかぶらぎ

社会福祉法人 愛光

ボランティア 大募集

体験・見学
できます！

障害のある方や高齢者、子どもたちと触れ合い、
笑顔あふれる温かい場所を一緒につくりませんか？
あなたの優しさや得意なことが、誰かの喜びにつながります。
まずはお気軽にお問い合わせください。

★現在募集中★

- ・ 行事でのカメラマン
- ・ 花壇の植え替え作業
- ・ 傾聴、朗読
- ・ 裁縫や洋裁
- ・ 楽器演奏やダンス、歌唱などの披露
- ・ 施設や車両の清掃、環境設備の活動（窓拭き等）

※その他、得意なことなどあればご相談ください！



お問い合わせ 社会福祉法人 愛光（本部） ☎043-484-6398

愛光で「ボランティア保険」の加入を助成しています。ぜひご相談下さい。